

第 270 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2012 年 11 月 27 日(火) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 松口 徹也 氏(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

口腔生化学講座・教授)

タイトル: 骨免疫学に関わる2つのシグナル伝達分子

骨代謝と免疫の機能的連関が「骨免疫学」と呼ばれる新たな研究領域として注目されている。私達は Toll-like receptor (TLR) 下流で MAP キナーゼ活性調節に関わる2つのシグナル伝達分子、Cot/Tp12(セリンスレオニンキナーゼ)と DUSP16 (aka MKP-M, MKP-7) (JNK 特異的フォスファターゼ)の免疫担当細胞における役割に注目し、そのサイトカイン産生やヘルパーT細胞分化における生理的機能について研究を進めてきた。一方、骨代謝における MAP キナーゼ活性の重要性も知られており、Cot/Tp12とDUSP16の2つの分子は、各種刺激に対する骨芽細胞内のMAPキナーゼ活性調節にも重要な役割を果たすことが明らかとなってきた。骨芽細胞分化やメカニカルストレス応答性における Cot/Tp12、DUSP16 の役割など、両遺伝子のノックアウトマウスの解析結果を含めた私達の最近の知見について概説したい。

担当: 硬組織疾患制御再建学講座 上原 俊介